

(菌床に弾性塊物を混入させた消滅型生ごみ処理装置)



こんなことができます!

目詰まりに強い生ゴミ処理装置を提供します!

【従来の問題点】

従来、生ごみを液化分解して排水として流すタイプの『消滅型』生ごみ処理装置は生ごみが分解過程で餅状、粘土状になり底部のパンチング板を詰まらせて排水が溜まる問題が多く散見されていた。

【解決したポイント】

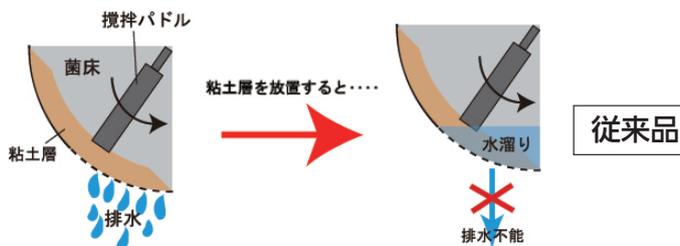
- ①菌床にゴムやプラスチックなどの弾力のある塊を(弾性塊物)一定量混入する。
- ②パンチング板の穴を塞ぐ餅状、粘土状の生ごみが弾性塊物により掻き取られ水溜まりを解消できる。

技術の概要

生ごみの分解過程で、米飯やイモ類が混入すると、菌床と一体化して攪拌装置とパンチング板の間の一定距離のクリアランス部分に粘土層を形成してくる。その結果、パンチング穴を閉塞させてしまう。

このクリアランス部分に弾性塊物が攪拌されると、形成している粘土状の層を掻き取り、崩し、パンチング板の穴をクリーニングし、排水性を復元させることができる機構を持った生ごみ処理装置。

図・写真



従来品

発明品



生ゴミ処理装置

発明者からのメッセージ

水が溜まりやすい米飯の残飯が多い学校給食や病院の給食などで、水が溜まるトラブルが激減しています。

ライセンス情報

1) 開放特許情報DB番号 / L2020001427

2) 特許番号 / 特許第6090678号

3) 公開番号 / 特開2017-006900

4) 出願番号 / 特願2015-240737

5) 出願日 / 2015. 12. 10

6) 発明の名称 / 「生ごみ処理装置」

7) 特許権者 / 藤森産業機械株式会社

8) 代表発明者 / 藤森 正大

9) 実施権許諾・譲渡種別

■許諾 □譲渡

10) 共同開発・研究の意思

■有 □無

11) サンプル提供の予定

□有 ■無

12) 技術指導の意思

■有 □無

13) 実施実績

■有 □試作 □実験 □無

14) 事業化実績

■有 □無

15) 実施権許諾実績

□有 ■無

連絡先

- 1) 所属 / 公益財団法人鳥取県産業振興機構
- 2) 担当者名 / 経営支援部 知的所有権センター 特許流通担当
- 3) 電話番号 / 0857-52-6722
- 4) E-mail / chizai@toriton.or.jp